

家族や友人にも講座の内容を伝えたい。(50代女性)

通常、がんの治療のみに重点がおかれ、心のケアや後遺症について取り上げられる事が少ないと思う。今回、とても為になった。(60代男性)

実際の症例や写真を見せていただいて分かりやすかった。本に書いていないような、もっと多くの事例を挙げて解説してほしい。(30代男性)

自分自身の生き方を講座を通して考えさせられた。(50代男性)

第1弾受講生アンケートより

最先端の医療を知ることができ、がんに対するイメージが変わった。できるだけ新しい事をもっと知りたいと思ったと同時に現代医学の進歩を感じ安心した。(60代女性)



山口 総長

10.22<sup>土</sup>  
開講



髙巢 院長

がんに対する地域住民の意識のレベルアップになったと思う。静岡がんセンターは検診の大切さをこれからももっと多くの県民に訴えていってほしい。(60代男性)

緩和医療に興味をもった。今後ボランティアをしたいと思った。(40代女性)

医療現場で働きながらも最先端の医療に携わることは少なく、今回は良い機会になった。(30代女性)

乳がんのモデルを触って体験できたことが良かった。(20代女性)

講師の先生が現場の医師の方々だったので参考になる話が聞けてよかった。(60代女性)

静岡県立 **静岡がんセンター** 第2弾  
**公開講座**

**安心して受けるがん医療**

～最前線の現場から～

2005年10月22日(土)～2006年3月12日(日)  
静岡市民文化会館 中ホール 開講:13時30分・終了:15時40分

全7回シリーズ

	1 部	2 部
第1回	10月22日(土) がん医療を受ける時—必要な知識と心構え 総長 山口 建氏	がん情報を手に入れよう 疾病管理センター看護師 廣瀬弥生氏
第2回	11月26日(土) 肝臓がん—診断から治療まで 肝胆膵外科医師 上坂克彦氏	がんの手術を受ける時—麻酔科医の役割 麻酔科医師 玉井 直氏
第3回	12月24日(土) 前立腺がん—診断から治療まで 泌尿器科医師 庭川 要氏	放射線治療と陽子線治療—副作用を減らすには 陽子線治療科医師 村山重行氏
第4回	2006年1月14日(土) 整形外科領域のがんと骨転移 整形外科医師 高橋 満氏	不安を覚えたら、どう対処する? 精神科医師 小野瀬雅也氏
第5回	2月11日(土) 抗がん剤治療の基礎知識 消化器内科医師 朴 成和氏	抗がん剤の副作用を減らす工夫 がん看護専門看護師 本山清美氏
第6回	2月25日(土) 内視鏡検査の上手な受け方 内視鏡科医師 小野裕之氏	がんの顕微鏡診断—ミクロの世界 病理診断科医師 亀谷 徹氏
第7回	3月12日(日) がんの看護について 看護部長 古田里恵氏	生きることを考える 院長 髙巢賢一氏

## 安心して受けるがん医療～最前線の現場から～

## トップレベルのがん医療を身近に!

地域の資源や特性を生かし、世界レベルの高度医療・技術開発、更には健康産業の集積を図ろうという“ファルマバレー構想”の中核を担う静岡県立静岡がんセンター。静岡がんセンターが誇る、最先端のがん医療を紹介するとともに、心のケア、看護、リハビリなどにも焦点をあてます。「今は健康と考えられる人々」も「がんを疑われたり、診断されたり、治療を受けている人々」も、がんに対する正しい認識を再確認し、がんの時代を生きる心構えを身につけましょう。

## 会場は静岡市民文化会館

前回のアンケートでもご希望の多かった静岡市での開催となります。県下全域からの受講生を広く募集いたします。

静岡がんセンターの医師らを講師に迎え  
あなたの疑問をわかりやすく解説!

講師陣は静岡県立静岡がんセンターの医師らが担当します。がん医療現場の最前線から、最先端のがん医療と、それに関するさまざまな問題を、わかりやすく、かつ高度な知識を豊富な具体例を交えながら解説していきます。情報が氾濫する中で、頼れる指針となるはずです。

## 静岡県立静岡がんセンター

「健康で心ふれあう社会づくり」を目標とする静岡県の政策のひとつとして開設されました。患者・家族の心と身体の全人的治療を実践します。また、静岡がんセンターを拠点として、富士山麓に医療からウェルネスまでの健康関連産業を図るファルマバレー構想も着々と進められています。

駿東郡長泉町下長窪1007 TEL:055-989-5222

<http://www.sechr.jp/>

## 受講生募集

【お問い合わせ】

静岡新聞社・静岡放送 事業局 TEL 054-284-8920

定員:先着1,000名 受講料:6,930円(7回分・テキスト代込)

## お申し込み方法

ハガキ、FAX、E-mailで必要事項を明記の上、お申し込み下さい。

先着1,000名様には、後日、郵便でお振込みの方法等のご案内を差し上げます。

【ハガキ】〒422-8670(住所記入不要)静岡新聞社事業局「静岡がんセンター公開講座」係

【E-mail】<sbs-jigyo@shizuokaonline.com> ※件名に「がんセンター講座」と明記

【FAX】下記の専用お申し込みシートをご利用下さい。

必要  
事項

①お名前 ②郵便番号・ご住所 ③TEL&FAX番号 ④生年月日 ⑤年齢 ⑥性別 ⑦ご職業

## FAX専用お申し込みシート

【お名前】			
【ご住所】〒			
【TEL番号】		【FAX番号】	
【生年月日】	年	月	日
【年齢】			才
【性別】	男	・	女
【ご職業】			

ファクス送信

ファクス送信

FAX 054-284-9031